

# ことば便り

墨田区立押上小学校  
校長 島田 和久  
ことばの教室 NO.2  
TEL 03-3617-6925  
令和6年5月1日(水)

新緑の香りがして気持ちのよい時期になりましたね。

新学期がスタートして3週間が経ちますが、学級やご家庭でのお子様の様子はいかがでしょうか。何かご心配なことなどあれば、担当者にご相談いただければと思います。

## 5月

## 5・6月の行事予定

## 6月

7日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)  
8日(水) グループ活動①(吃音) 15:30~  
14日(火) 都難言協専門研究会(午後)  
25日(土) 押上小体育発表会  
27日(月) 押上小体育発表会 振替休業日  
※通級は全日お休みです。  
31日(金) 区難言教室担当者会(午後)  
※午後の通級はお休みです。

3日(月) 在籍学級訪問開始  
4日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)  
5日(水) グループ活動②(吃音) 15:30~  
11日(火) 都難言協専門研究会(午後)  
22日(土) 押上小土曜授業「ことばの相談日」  
25日(火) 通級指導学級研究会(午後)

「ことばの相談」について 相談日：6月22日(土) 9時30分~11時30分

押上小の学校公開日に合わせて「ことばの相談」を行います。お子さんの様子で気になることなどの相談のほか、施設の見学ができます。事前に連絡の上、お越しいただくとありがたいです。

TEL3617-6925(教室直通)

お気軽に  
ご相談を

## 新年度保護者会にご出席いただき、ありがとうございました。

先日はご多用の中、保護者会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。「ことばの教室」は、一人一人の児童に寄り添い、「できること」や「楽しめること」を一緒に考えていくことができる場所です。今年度も、保護者の皆様や在籍学級担任の先生方と連携し指導・支援を進めていきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 在籍学級訪問のお願い

6月3日(月)から、在籍学級訪問を開始します。授業時の通級児童の様子を参観し、その後、在籍学級担任の先生方との情報交換を行います。日程につきましては、各担当者から電話等でご都合を伺いし調整いたします。

## ことばの教室の通級にあたって

- ・通級時の持ち物「連絡ファイル(必須)、筆記用具、国語の教科書」を持たせてください。
- ・学期の終了時、在籍校宛に指導報告書をお送りしています。各校で保管及び管理をお願いします。

## 「ことばの教室」とはどんなところ？

- ・「ことば」に関する心配や不安を和らげるための指導や学級を行う学級です。
- ・決められた時間のみ授業を抜けて通級します。通級している時間は出席扱いとなり、授業に代わるものとなります。担任の先生には授業のフォローをお願いします。
- ・児童の実態に合わせて、決められた時間（週1～2回、45分～90分）学習します。

## 学級担任の先生方へことばの教室に通う児童への配慮（合理的配慮）のお願い

ことばの教室には、吃音や発音の誤り、言語発達の遅れ、読み書きの不得手さなどの課題のある児童が通っています。以下に配慮していただきたい内容を大まかにお伝えします。

### 発音に誤りがある

- ・「さかな」が「しゃかな」「ちゃかな」「たかな」などに置き換わる。
- ・音がはっきりしなかったり、聞きにくかったりする



発音の誤りは発語器官の動きの鈍さや癖などが要因となります。復唱させても、改善されず、話すことに抵抗をもつようになる子もいます。誤って発音した場合でも、「さかなを捕まえたんだね」と正しい発音を聞かせてあげ、言い直しを強要せず、見守ってください。

### 吃音がある

- ・「ぼ、ぼ、ぼく」など音やことばを繰り返す
- ・「ぼーくね」など、音を引き伸ばす
- ・「……っぼく」など、ことばがつまって出しにくいことがある



吃音が出てもおしゃべりを避けず、楽しめるよう、周囲がどもってもいいんだよと思うことが大切です。学級・家庭でも「落ち着いて」「ゆっくり」などと声をかけるのではなく、ゆったり話すとよいでしょう。また、発表している内容や意欲に注目し、話すことに自信をもてるように励ましてあげてください。

### ことばの発達が遅れている、言語力に心配がある

- ・知っている言葉や知識が少ない
- ・言いたいことを文で正しく言い表さない
- ・大人の指示や話を理解できない、友達との会話がちぐはぐになるなど
- ・読み書きが定着しない



読むのがたどたどしい場合、①文字を習得していない ②言葉のまとまりがとらえられないなど様々な要因があり、その子の実態に合わせた指導・支援が必要になります。

漢字を書く量を調整したり、ルビ付きのテストを使用したりするなど、負担を軽減することで取り組みやすくなります。



上記のように同じような困り感を抱えているお子さんがいましたら、お気軽にことばの教室にご連絡ください。

今後、ことば便りを通して、発音、吃音、言語発達の促進の指導・支援について詳しく書かせていただきます。